

「たからもの手帳」について



この手帳は、飛騨市の全幼児の保護者に配布しています。

(母子手帳を引き継ぐ意味もあり、5歳を目安にお渡ししています。)

この手帳は、保護者が保管してください。

「たからもの手帳」の目的

• この手帳の目的は3つあります。

☆1つ目は幼少期からの出来事や成長の足跡、配慮して欲しいポイントなどを書き留めることで、お子さんの「持ち味（性格・長所・短所・感覚など）」がわかり、それを活かしながら将来（例えば学校の面談、就職など）に繋がるよう活用してもらうことです。

☆2つ目は、生まれてきた我が子を丸ごと受け止め、温かく見守ってきたことが、この手帳を振り返って見ることでわかり、保護者の力や関りの参考になること、また成人してこの手帳を渡された本人が「こんなにも大切にされてきた」という自信になったり、自分を知るきっかけになったりすることです。

☆3つ目として、災害など保護者と離れる可能性のある緊急時にはお子さんにこの手帳を持たせてほしいと思っています。

住所などの情報やお子さんへの対応で気を付けることなどが記入してあるので安心です。

「たからもの手帳」の書き方

• 基本的には自由に書いて下さって結構です。

「かわいい!」「すごい!」と思った姿、手放さなかった物や好きだった食べ物、また心配したことやうれしかったこと。

• 何か心配なことがあったときは、こんな様子が心配だったという出来事、誰かに相談した内容、こんな関りをしたらうまくいった、またはうまくいかなかった、など。

• 得意なこと、苦手なこと（音や匂いなども）

• 書くことが苦手な方は、誕生日の写真や保育園からもらった「メッセージ」等だけでも。。

• 資料や写真などを入れたりなど自由にカスタマイズしていただいて結構です。

• もっと細かく支援について書きとめておきたい方は「たからもの手帳・支援編」もあります。こちらは希望者にお渡ししています。



「たからもの手帳」の書き方・具体例

どんなことでも、エピソードはお子さんの持ち味を知るきっかけになります！

例えば・・・

- ・ 保育園の当番が好きではりきっていた。最近家での手伝いもしたがる。
- ・ TVのマネをして踊るのが好き。遊戯や体操も得意だと担任から聞いた。
- ・ 遊びたいのに、今日は赤ちゃんが起きないように静かにしてくれていた。
- ・ 運動会するとき、リレーのピストルの音が嫌いで耳をふさいでいたが、とても速かった！
- ・ ○月○日、風邪をひいて学校を休んだ。
- ・ クリスマスにゲームをもらった。1日○○分と決めて始めたが守れず、怒られたら一日中怒っていた。でも約束と一緒に紙に書いたら守れるようになった！



このようなエピソードから
こんな「持ち味」が見えてくるかも。

- * 体を動かすことが得意でエネルギーがある！
- * 目的のある活動だとがまんもできる。
- * 耳が少し敏感かもしれない。何か言われたことにも反応しやすいタイプかもしれないので注意するときも、過剰に反応しないように静かに諭す方がいいかもしれない。
- * 記録してみると風邪をひくのはいつも7月だ！7月は体調に気をつけた方がいいのかも！
- * 周りを見て、気づかうことのできる優しい子だ。

または・・・

- ・ お気に入りの服はこれ、好きな色は○○、保育園では○○くんが大好き。
- ・ マクドナルドに行くといつも○○を食べる。
- ・ 小さい頃は人見知りがあった。今も保育園（または学校）ではあまりしゃべらないが、家では大きい声で歌っている。



こんな姿からは・・・

- * 好みの感触や安心できる人、安心できる場所が活動に影響しやすいかもしれない。
大きく変化のないことに心地よさを感じるタイプかもしれない。

さらに、その感覚は大きくなってそのまま活かせるものかもしれないし、または変化や成長を感じるきっかけがあるかもしれません！（例えば、人前が苦手だったのに「小5のとき、先生の言葉がきっかけで発表が好きになった」など）



「たからもの手帳」の活用例

昨年度「たからもの手帳」の活用について小学校にアンケートを依頼しました。
H29から開始した「たからもの手帳」ですが、少しずつ活用されているようです。
学校側からは、こんな意見がありました。

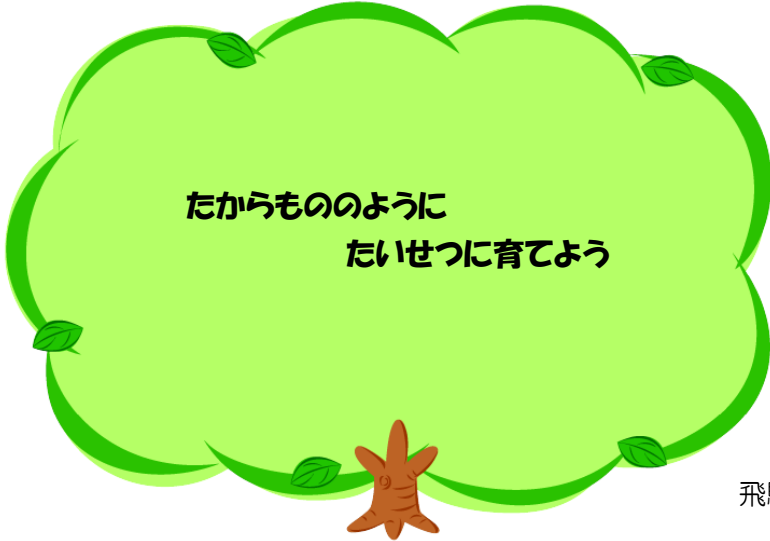
- 懇談時に持参する保護者さんが増え、入学前までの様子について参考にさせてもらった。
- 保護者面談に持参してもらい、資料や写真を見ながら話げできた。
- 基本的な生活表に生活の「めあて」を記入したものを、「たからもの手帳」に綴ってもらい、確認したり、記録したりして利用した。
- 子どもを理解するのに、保護者と担任や関係職員が共通理解しやすかった。
- これまでの成育歴や保護者の思いが伝わった。
- 活用されていない保護者さんには1年に1度、誕生日には我が子の良さを書きとめておくことを勧めた。

今は特別に支援は必要ないと思っけていても、支援を受ける子が特別なのではなく、支援は誰もが必要になります。

面倒だったり、活用しにくい点があつたりするかと思つますが、ぜひお子さんの成長の姿や、保護者の思い、エピソードなど何でも書いてみてください。

もし、これからのライフステージで壁にぶつかったとき、また自分を振り返りたいとき、この手帳が何かの役に立てば幸いです。

大切なお子さんがこれからも「自分らしく」生きていけるように応援しています。



たからものように
たいせつに育てよう

飛騨市発達支援センター
73-7483